



2021年2月16日

各位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループ CEO 阿部 修平
(コード8739 東証第一部)

「宇宙フロンティアファンド」
衛星データ解析システムの開発を手がける株式会社スペースシフトへの投資実行
—AI×宇宙で世界をひもとく—

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークスと表記）子会社のスパークス・イノベーション・フォー・フューチャー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：見學信一郎。以下、SIFと表記）が、2020年6月に設立した「宇宙フロンティアファンド」が、地球観測衛星から得られたデータをAIを用いて解析することで多くの情報を引き出すソフトウェアを開発する株式会社スペースシフト（本社：東京都千代田区、代表取締役 金本成生）への投資を実行しましたので、お知らせします。スペースシフト社は今回の調達資金を活用し、開発体制の大幅な強化を行い、SAR（合成開口レーダー）※衛星データ解析に特化したAIの開発を推進する予定です。

※SAR（合成開口レーダー）：衛星のアンテナから電波を発射し、観測する地表の対象物に当たって反射された電波を観測するレーダー。反射された電波の状態から、対象物の大きさや表面の性質を測定する。

■投資先企業の概要

スペースシフト社は衛星データ解析ソフトウェア開発、衛星データ解析業務等に取り組む企業として、2009年にCEO 金本成生氏によって設立されました。近年の小型衛星の高機能化、米政府によるSARデータ商用利用の解禁、AIの進歩によるデータ解析ツール開発の高速化で、小型SARコンステレーションから取得する衛星データ利用市場が出現したことから、SAR衛星データをAIを用いて高速で自動処理することで解析精度を飛躍的に向上させ、あらゆるものの総量把握や生産量把握を行い、より効率的な社会の実現への寄与を目指しています。

スペースシフト社についての詳細は、<https://www.spcsft.com/>

■「宇宙フロンティアファンド」の概要

宇宙フロンティアファンドは宇宙開発に関わる人材・技術を支援し、世界と戦える日本発の宇宙企業を育成すること、更には、日本全体の技術革新に貢献することを主たる目的として、SIFを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社三井住友銀行、株式会社みずほ銀行等による総額82億円の出資により、2020年6月より運用を開始しました。

SIFのホームページ：<https://sparxsif.com/>

■本件に関するお問い合わせ先

スパークス・グループ株式会社 広報室
TEL：03-6711-9100 / FAX：03-6711-9101
pr_media@sparxgroup.com